

### XIII 介護の状況と希望介護場所

#### 1 介護の状況

##### (1) 介護をしている者の割合

個人票問 8 本問において、現在介護をしているかどうかを質問している。介護の相手は同居している者に限らない。また、仕事として介護に従事している場合を除いている。

図表 XIII-1 は男女別に介護をしている者の割合を示したものである。男女計では 8.2%であったが、男性計では 6.8%、女性計では 9.5%と女性の方が介護をしている者の割合が大きくなっていた。

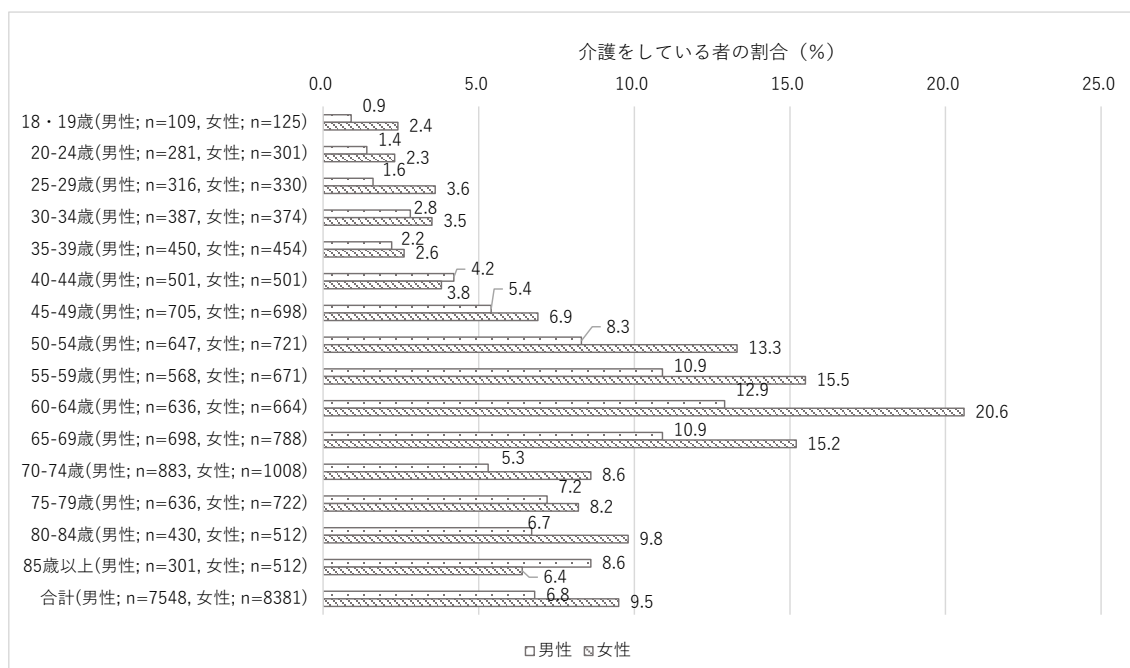
図表 XIII-1 介護をしている者の割合

	している	していない	無回答	合計	介護をしている者の割合 (%)
男女計	1,312	13,929	688	15,929	8.2
男性計	512	6,746	290	7,548	6.8
女性計	800	7,183	398	8,381	9.5

注) 個人票により集計している。

図 XIII-2 は性・年齢階級別に介護をしている者の割合を示したものである。

図表 XIII-2 性・年齢階級別介護をしている者の割合 (%)

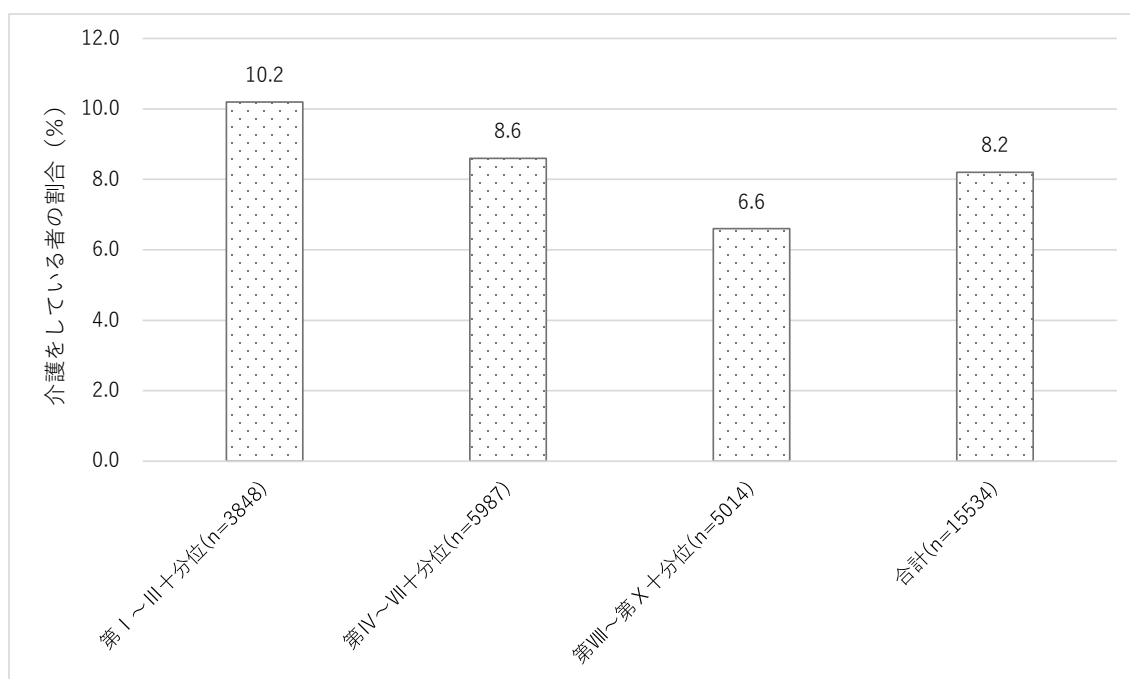


注) 個人票により集計している。分母に無回答を含む。

例外的な年齢階層を除く、ほぼ全ての年齢層で女性の方が介護をしている者の割合が大きかった。特に、60-64歳の女性では20.6%と5人に1人の割合で介護をしている状況であった。45-49歳から男女ともに介護している者の割合が大きくなるが、それよりも低い年齢層でも介護をしていると回答した者が少数ながら存在した。

図表 XIII-3 は個人票と世帯票を接続し、世帯の等価可処分所得階級別に介護をしている者の割合を示したものである。所得の低い方から30%の世帯にあたる第Ⅰ～Ⅲ十分位の世帯においては、10.2%の個人が介護をしているが、所得第Ⅳ～Ⅶ十分位では8.6%、第Ⅷ～Ⅹ十分位では6.6%と、所得の高い世帯において介護をしている者の割合が小さかった。

図表 XIII-3 世帯の所得階級別介護をしている者の割合 (%)



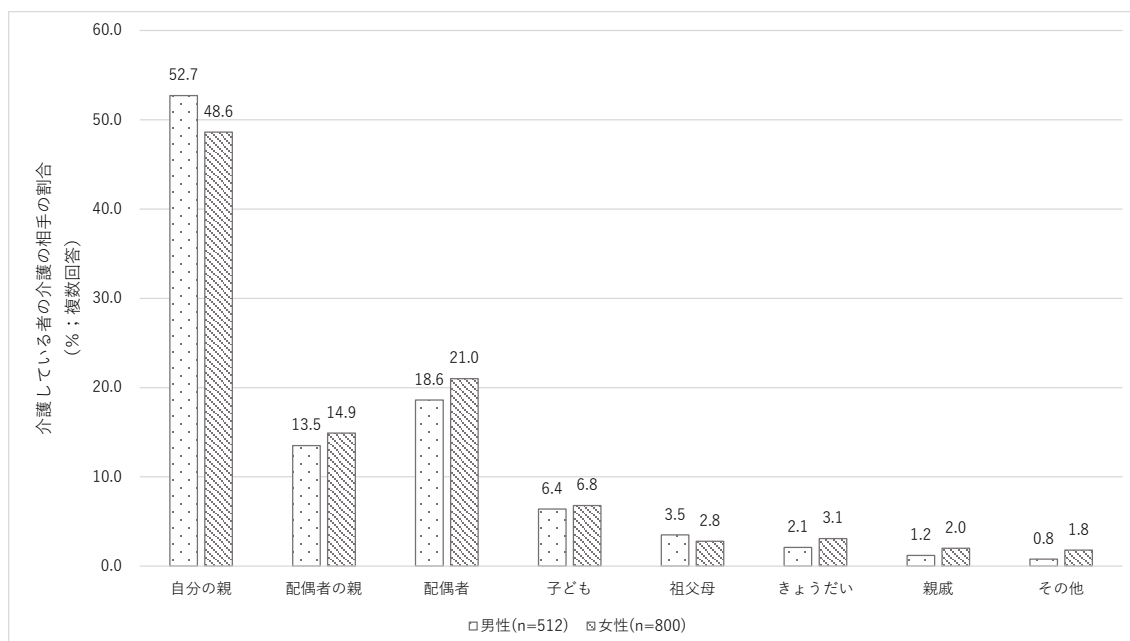
注) 世帯票及び個人票により集計している。分母に無回答を含む。合計に世帯所得不明の者を含むが、世帯票情報が利用可能でない者を含まない。

## (2) 介護をしている者の介護の相手

介護をしていると回答した者に対して、問 8 枝問にて介護している相手を複数回答にてさらに質問している。これを男女別にまとめたものが図表 XIII-4 である。

男女ともに介護している者の介護相手は自分の親とするものが、男性：52.7%、女性：48.6%と最も大きかった。次いで、配偶者（男性：18.6%、女性：21.0%）、配偶者の親（男性：13.5%、女性：14.9%）となっていた。女性の方が配偶者の親、配偶者のみならず、自分の親以外を介護相手とする者の割合が男性と比較して大きい場合が多かった。

図表 XIII-4 介護をしている者の介護相手別の割合（%；複数回答）



注) 個人票により集計している。合計に無回答を含み、不詳（介護をしているかについて無回答）、非該当（40歳未満の者）を含まない。複数回答のため合計は100%にならない。

## 2 希望介護場所

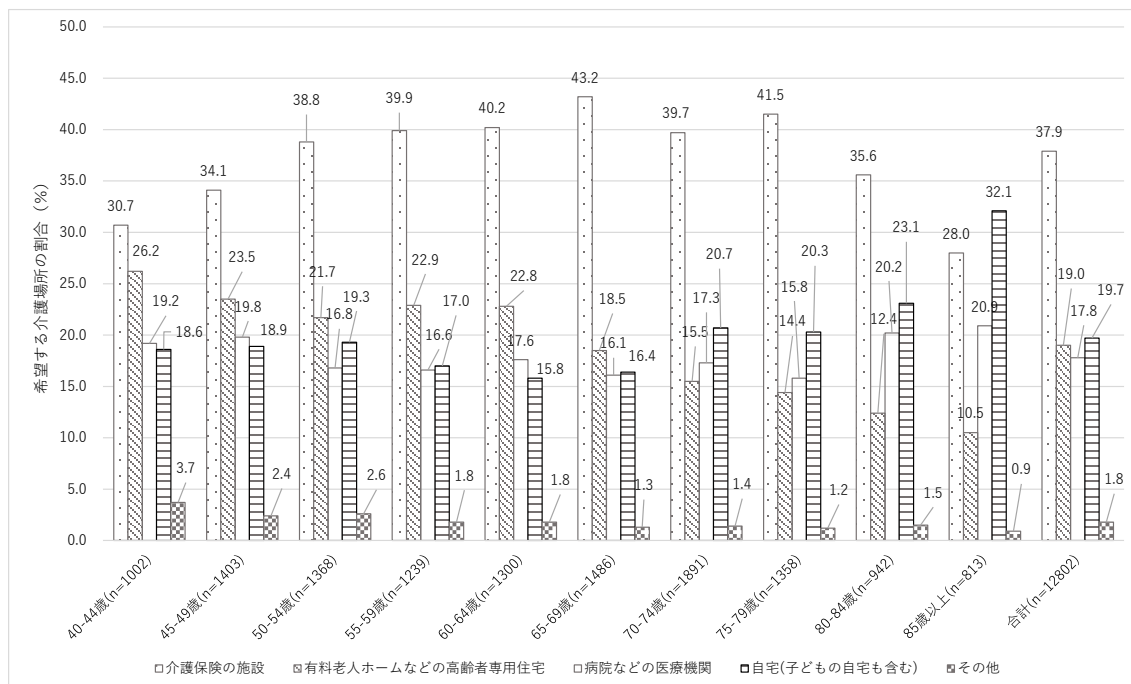
個人票問9では40歳以上の個人に対して、寝たきりになった場合にどこで介護を受けたり療養したいか、を聞いている。これを年齢階級別に示したものが図表 XIII-5 である。

男女計で見ると、ほとんど全ての年齢階級で介護保険の施設とする者が最も多かった。50～54歳から75～79歳の年齢層では約4割が希望していた。ただし、80歳以上では、80～84歳において35.6%、85歳以上で28.0%と小さくなっていた。

70～74歳から上の年齢層において希望する介護場所を自宅とする者の割合が大きく、85歳以上では3割を超えていた。有料老人ホームなどの高齢者専用住宅とする者は40-44歳で最も大きく26.2%であったが、年齢が高くなるとその割合は小さく、85歳以上では10.5%であった。

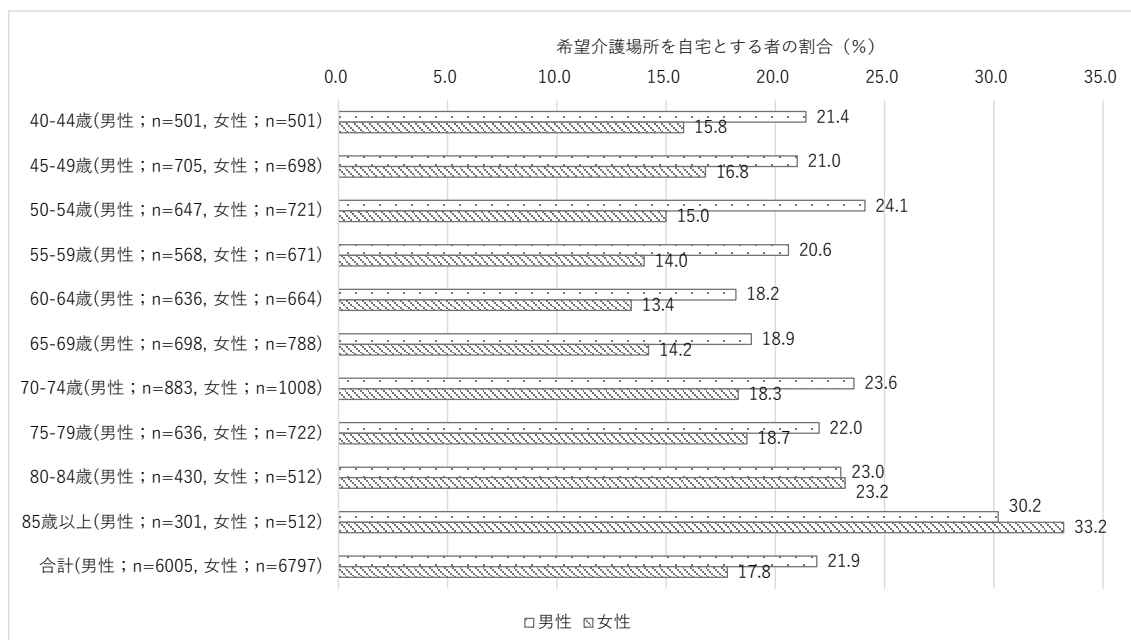
次に、希望介護場所を自宅とする者に着目して性・年齢階級別にその割合を図示したものが図表 XIII-6 である。40～44歳階級から75～79歳階級までは、女性は希望介護場所を自宅とする者の割合が20%未満であるのに対して、男性は60-64歳において18.2%、65-69歳にて18.9%であることを除けば、常に20%を超えており、男性の方が女性よりも自宅を希望する割合が大きかった。80～84歳、85歳以上では女性の方が自宅とする者の割合が大きくなっていた。

図表 XIII-5 年齢階級別希望介護場所の割合 (%)



注) 個人票により集計している。分母に無回答を含み、非該当(40歳未満の者)を含まない。

図表 XIII-6 性・年齢階級別希望介護場所を自宅とする者の割合 (%)



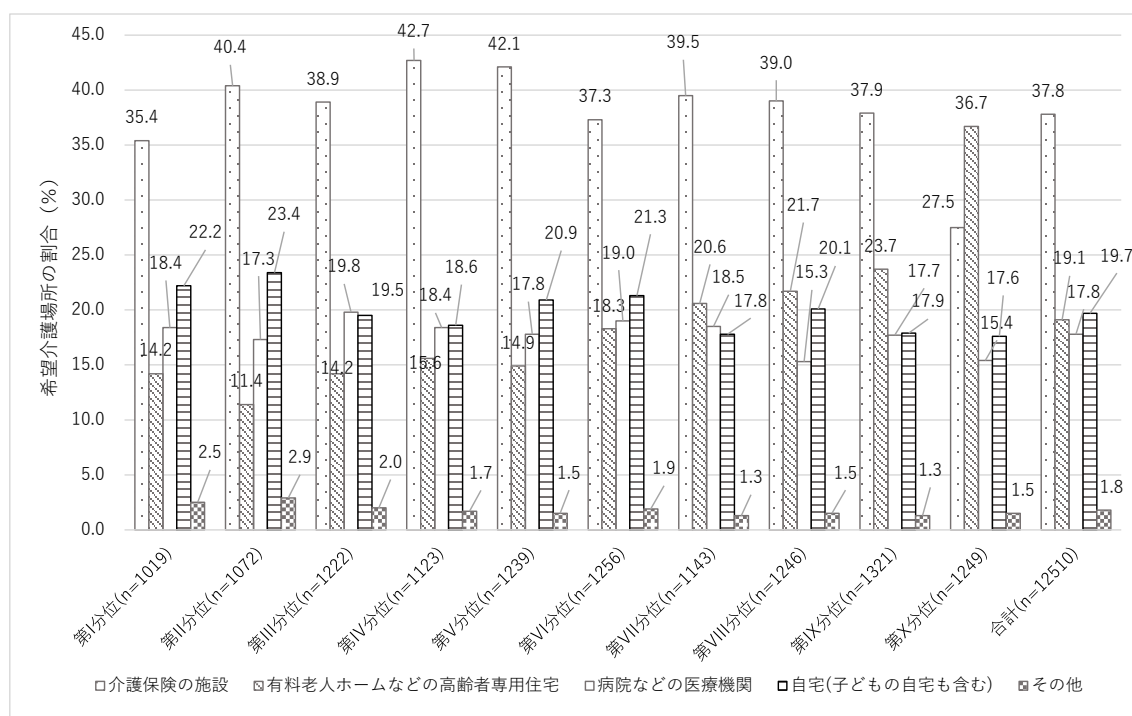
注) 個人票により集計している。分母に無回答を含み、非該当(40歳未満の者)を含まない。

図表 XIII-7 は個人票と世帯票を接続した上で、世帯の等価可処分所得階級別に介護を実施している者の割合を示したものである。介護保険の施設とする者の割合は第IX分位以下では約 35%～43%の範囲で最も多かったが、第X十分位では 27.5%と低くなっていた。有料老人ホームなどの高齢者専用住宅とする者の割合は第II十分位で最も低く 11.4%であったが、世帯所得水準が高いほどその割合は高く、第X十分位では 36.7%となっていた。病院などの医療機関、自宅とする者の割合は所得によらず約 15%～25%の範囲となっていた。

図表 XIII-8 は個人票と世帯票を接続した上で、貯蓄階級別に希望介護場所の割合を示したものである。介護保険の施設を希望する者は貯蓄額 0 万円から 1500～2000 万円階級まで最も高い割合であり、約 35%～44%の水準にある。3000 万円以上では 27.1%であった。有料老人ホームなどの高齢者専用住宅は貯蓄額 0 万円では希望する者の割合は 10.8%であったが、貯蓄額が高いと希望する割合が高く、3000 万円以上では 34.5%であった。病院などの医療機関や自宅を希望する者の割合は約 14%～24%の範囲にあった。

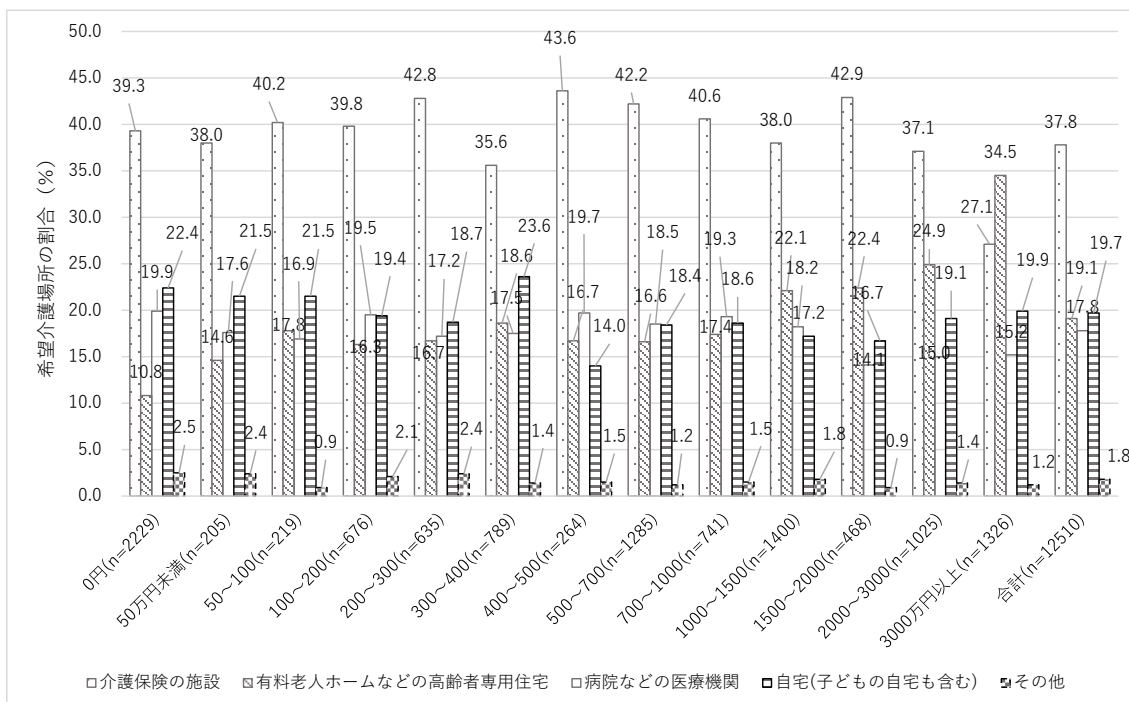
図表 XIII-9 は部屋数階級別に希望介護場所の割合を示したものである。介護保険の施設を希望する者は部屋数が 1 部屋から 9 部屋において約 34%～42%の水準であったが、それ以上では約 5 割が希望していた。

図表 XIII-7 世帯の所得階級別希望介護場所の割合 (%)



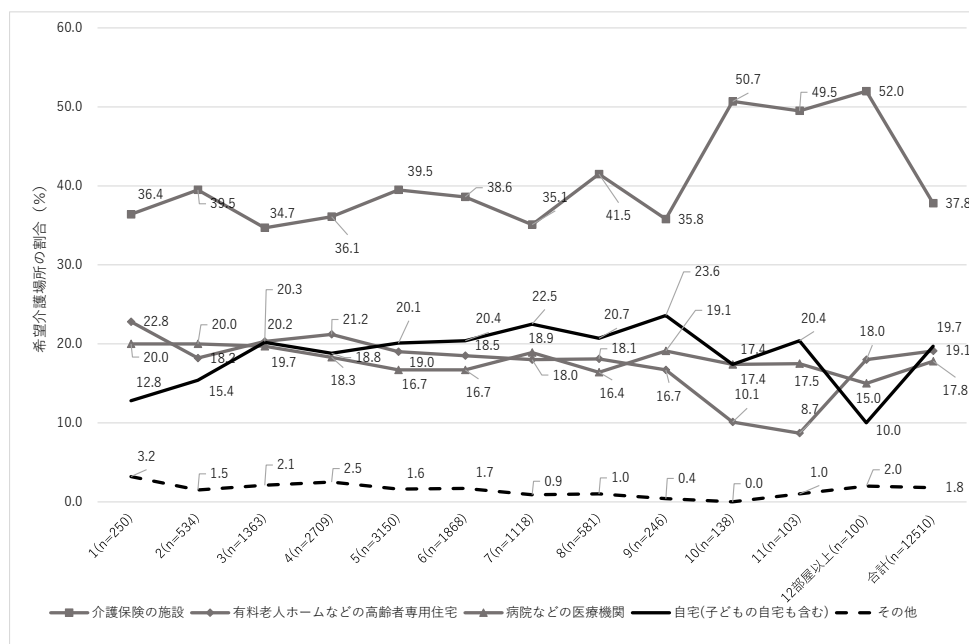
注) 世帯票及び個人票により集計している。分母に非該当 (40 歳未満の者) を含まない。合計に世帯所得不明の者を含み、世帯票情報が利用可能でない者を含まない。

図表 XIII-8 貯蓄階級別希望介護場所の割合 (%)



注) 世帯票及び個人票により集計している。分母に非該当(40歳未満の者)を含まず、合計に貯蓄の有無不明、貯蓄はあるが額は不明の者を含むが、世帯票情報が利用可能でない者を含まない。

図表 XIII-9 部屋数階級別希望介護場所の割合 (%)



注) 世帯票及び個人票により集計している。分母に非該当を含まず、合計に部屋数無回答の世帯の者を含むが、世帯票情報が利用可能でない者を含まない。